

◆多様な人々とともに生きるために必要とされる相互理解に不可欠な知識、教養、技能を身につけ、現実社会と関連づけた権利意識に基づき、福祉の歴史や原理を社会の様々な領域で活かすことができる
 ①自分とは異なる立場の考え方を理解することができる
 ②社会や日常の出来事を権利の視点から考えることができる
 ③培われてきた福祉の歴史や原理をもとに次の社会を展望できる

◆自らの価値を大切にしながら、価値が相違する相手とも丁寧に対話を進め、日々、社会で起こる諸課題を新たな価値の創出機会と捉えなおすことができる
 ①自らの意思や感情を他者に応じて表現することができる
 ②生活背景を踏まえて他者の視点や立場を想像することができる
 ③社会の諸課題を新たな可能性を生み出すきっかけにすることができる

■誰もが平等に扱われ自由で安心して暮らせる地域社会をめざして、必要とされるケアや環境を追求し続けることができる

希望の進路

社会福祉学科の学位のみを取得する場合
 企業や地方自治体への就職を目指す場合



◆◆卒業研究ゼミ1・2

〔注〕
 緑：必修／選択必修科目
 水：教職関連科目
 紺：社会福祉士科目
 桃：精神保健福祉士科目
 橙：保育士科目
 赤：社会福祉関連科目
 茶：フィールドワーク科目

4年生 学びの統合

- 精神医学1
- 貧困に対する支援
- 教育原論
- 児童ケア論

- 刑事司法と福祉
- 福祉行財政と自治体福祉政策
- 地域共創フィールドワーク

3年生 社会の分析

- 高齢者福祉論
- 社会福祉法
- 障害児者ケア論
- 人間発達論

- ◆◆ソーシャルワークの理論と方法1・2
- 社会政策論
- 地域共創演習3

インターンシップ・課外活動など

2年生 視点の拡充

- ◆音楽演習1
- 若者支援論
- ◆国際社会福祉研修
- 社会的養護1
- 発達心理学
- ソーシャル・ビジネス論
- 精神保健の課題と支援1・2
- 国際福祉論
- 社会保障論1・2
- ◆心身ケアとウェルビーイング
- ◆■地域共創演習1・2

インターンシップ・課外活動など

1年生 福祉の土台

- 障害児者福祉論
- 教育心理学
- 児童・家庭福祉論
- 現代家族論
- 福祉のケアと倫理
- 人権と福祉
- 社会福祉史
- 現代の社会問題とソーシャルアクション
- ◆アカデミック・スキルズ
- 社会福祉原論

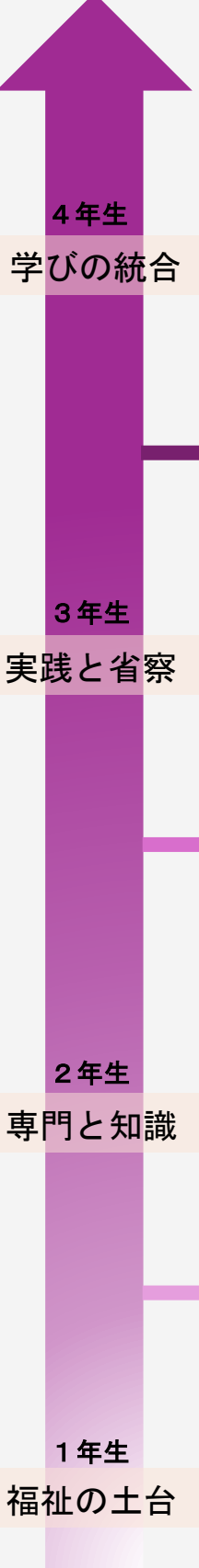
◆多様な人々とともに生きるために必要とされる相互理解に不可欠な知識、教養、技能を身につけ、現実社会と関連づけた権利意識に基づき、福祉の歴史や原理を社会の様々な領域で活かすことができる
 ①自分とは異なる立場の考え方を理解することができる
 ②社会や日常の出来事を権利の視点から考えることができる
 ③培われてきた福祉の歴史や原理をもとに次の社会を展望できる

◆自らの価値を大切にしながら、価値が相違する相手とも丁寧に対話を進め、日々、社会で起こる諸課題を新たな価値の創出機会と捉えなおすことができる
 ①自らの意思や感情を他者に応じて表現することができる
 ②生活背景を踏まえて他者の視点や立場を想像することができる
 ③社会の諸課題を新たな可能性を生み出すきっかけにすることができる

■誰もが平等に扱われ自由で安心して暮らせる地域社会をめざして、必要とされるケアや環境を追求し続けることができる

希望の進路

保育士と社会福祉士の資格を目指す場合



◆◆卒業研究ゼミ1・2

◆◆ソーシャルワーク実習指導2〔社福〕	◆◆ソーシャルワーク実習2〔社福〕	◆◆ソーシャルワーク実習指導3〔社福〕
●権利擁護を支える法制度	■福祉サービスの組織と形成	〔注〕 緑：必修科目 橙：保育士科目 紺：社会福祉士科目 茶：実習科目
◆◆ソーシャルワークの理論と方法4	■社会福祉の原理と政策1・2	
◆◆保育実習指導2または3〔保育〕	◆◆保育実習2または3〔保育〕	

3年生
実践と省察

◆◆保育実習指導(事前)〔保育〕	◆◆保育実習1A・1B〔保育〕	◆◆保育実習指導(事後)〔保育〕
■社会福祉調査の基礎	●刑事司法と福祉	◆乳児保育2
■保健医療と福祉	■地域福祉と包括支援体制1・2	●社会的養護2
◆◆ソーシャルワーク演習(専門)2	◆◆ソーシャルワークの理論と方法3	■子どもの食と栄養
		◆◆保育の計画と評価

2年生
専門と知識

	◆◆ソーシャルワーク実習指導1〔社福〕	◆◆ソーシャルワーク実習1〔社福〕
■貧困に対する支援	●障害児保育	●◆乳児保育1
■社会保障論1		◆子どもの健康と安全
◆◆ソーシャルワークの理論と方法1・2	◆子どもの保健	◆保育内容総論
◆◆ソーシャルワーク演習・(専門)1	●子ども家庭支援の心理学	●社会的養護1

1年生
福祉の土台

●障害児者福祉論	■ソーシャルワークの基盤と専門職	◆保育原理
●児童・家庭福祉論		■保育の心理学
■福祉のケアと倫理	■人権と福祉	■社会福祉史
●現代の社会問題とソーシャルアクション	◆アカデミック・スキルズ	■社会福祉原論

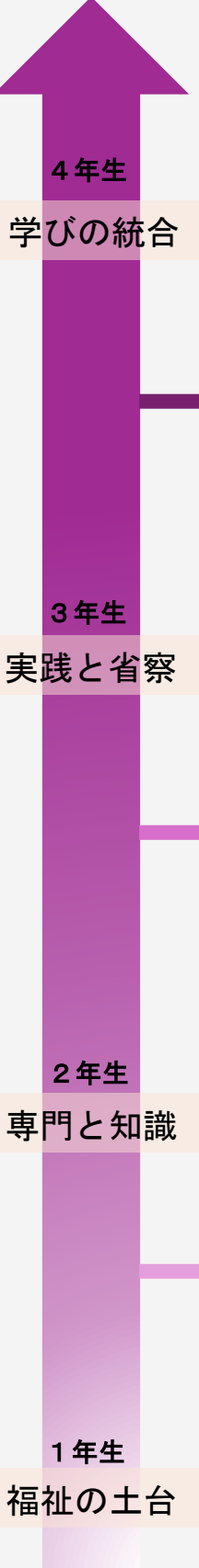
◆多様な人々とともに生きるために必要とされる相互理解に不可欠な知識、教養、技能を身につけ、現実社会と関連づけた権利意識に基づき、福祉の歴史や原理を社会の様々な領域で活かすことができる
 ①自分とは異なる立場の考え方を理解することができる
 ②社会や日常の出来事を権利の視点から考えることができる
 ③培われてきた福祉の歴史や原理をもとに次の社会を展望できる

◆自らの価値を大切にしながら、価値が相違する相手とも丁寧に対話を進め、日々、社会で起こる諸課題を新たな価値の創出機会と捉えなおすことができる
 ①自らの意思や感情を他者に応じて表現することができる
 ②生活背景を踏まえて他者の視点や立場を想像することができる
 ③社会の諸課題を新たな可能性を生み出すきっかけにすることができる

■誰もが平等に扱われ自由で安心して暮らせる地域社会をめざして、必要とされるケアや環境を追求し続けることができる

希望の進路

社会福祉士の資格を目指す場合



◆◆卒業研究ゼミ1・2

- ソーシャルワーク演習（専門）4
- 社会福祉の原理と政策1・2
- ソーシャルワーク演習（専門）3
- ◆◆ソーシャルワークの理論と方法4

〔注〕
 緑：必修科目
 紺：社会福祉士科目
 橙：保育士科目
 水：教職関連科目
 茶：実習科目

- ◆◆■ソーシャルワーク実習指導2
- ◆◆■ソーシャルワーク実習2
- ◆◆■ソーシャルワーク実習指導3

- 福祉サービスの組織と経営
- 権利擁護を支える法制度
- ◆音楽演習1

- 医学概論
- 刑事司法と福祉
- 若者支援論

- ◆■ソーシャルワーク演習（専門）2
- ◆◆ソーシャルワークの理論と方法3
- 現代家族論

- ◆◆■ソーシャルワーク実習指導1
- ◆◆■ソーシャルワーク実習1

- 地域福祉と包括支援体制1・2
- 社会福祉調査の基礎

- ◆◆ソーシャルワークの理論と方法1・2
- 保健医療と福祉
- 社会的養護1

- ◆■ソーシャルワーク演習・（専門）1
- 貧困に対する支援
- 社会保障論1・2
- ◆心身ケアとウェルビーイング

- 高齢者福祉論
- 障害児者福祉論

- ソーシャルワークの基盤と専門職
- 児童・家庭福祉論

- 福祉のケアと倫理
- 人権と福祉
- 社会福祉史

- 現代の社会問題とソーシャルアクション
- ◆アカデミック・スキルズ
- 社会福祉原論

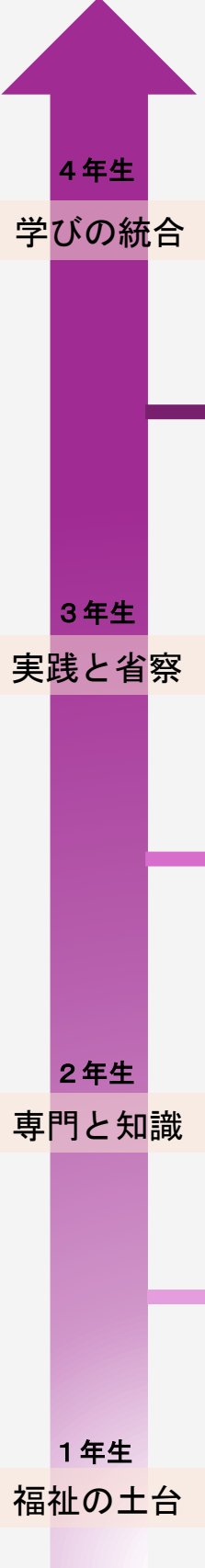
◆多様な人々とともに生きるために必要とされる相互理解に不可欠な知識、教養、技能を身につけ、現実社会と関連づけた権利意識に基づき、福祉の歴史や原理を社会の様々な領域で活かすことができる
 ①自分とは異なる立場の考え方を理解することができる
 ②社会や日常の出来事を権利の視点から考えることができる
 ③培われてきた福祉の歴史や原理をもとに次の社会を展望できる

◆自らの価値を大切にしながら、価値が相違する相手とも丁寧に対話を進め、日々、社会で起こる諸課題を新たな価値の創出機会と捉えなおすことができる
 ①自らの意思や感情を他者に応じて表現することができる
 ②生活背景を踏まえて他者の視点や立場を想像することができる
 ③社会の諸課題を新たな可能性を生み出すきっかけにすることができる

■誰もが平等に扱われ自由で安心して暮らせる地域社会をめざして、必要とされるケアや環境を追求し続けることができる

希望の進路

社会福祉士と精神保健福祉士の資格を目指す場合



◆◆卒業研究ゼミ1・2

<p>◆◆精神保健福祉援助実習指導2</p> <p>■ソーシャルワーク演習（専門）4</p> <p>■ソーシャルワーク演習（専門）3</p>	<p>◆◆精神保健福祉実習2</p> <p>■社会福祉の原理と政策1・2</p> <p>◆◆ソーシャルワークの理論と方法4</p>	<p>◆◆精神保健福祉実習指導3</p> <p>■ソーシャルワークの理論と方法（専門）2</p> <p>●精神障害リハビリテーション論</p>
<p>◆◆ソーシャルワーク実習指導2</p> <p>■福祉サービスの組織と経営</p> <p>■医学概論</p> <p>◆■ソーシャルワーク演習（専門）2</p>	<p>◆◆ソーシャルワーク実習2</p> <p>●◆精神保健福祉援助実習指導1</p> <p>●権利擁護を支える法制度</p> <p>●刑事司法と福祉</p> <p>◆◆ソーシャルワークの理論と方法3</p>	<p>◆◆ソーシャルワーク実習指導3</p> <p>●◆精神保健福祉援助実習1</p> <p>■精神保健福祉制度論</p> <p>◆◆ソーシャルワークの理論と方法（専門）1</p>
<p>■地域福祉と包括支援体制1・2</p> <p>◆◆ソーシャルワークの理論と方法1・2</p> <p>◆■ソーシャルワーク演習・（専門）1</p> <p>●高齢者福祉論</p> <p>■ソーシャルワークの基盤と専門職</p> <p>■福祉のケアと倫理</p> <p>●現代の社会問題とソーシャルアクション</p>	<p>◆◆ソーシャルワーク実習指導1</p> <p>■社会福祉調査の基礎</p> <p>■保健医療と福祉</p> <p>■貧困に対する支援</p> <p>■社会保障論1・2</p> <p>■人権と福祉</p> <p>◆アカデミック・スキルズ</p>	<p>◆◆ソーシャルワーク実習1</p> <p>〔注〕 緑：必修科目 紺：社会福祉士科目 桃：精神保健福祉士科目 茶：実習科目</p> <p>●◆精神医学2</p> <p>●精神医学1</p> <p>●精神保健福祉の原理1・2</p> <p>●精神保健の課題と支援1・2</p> <p>■社会福祉史</p> <p>■社会福祉原論</p>

◆多様な人々とともに生きるために必要とされる相互理解に不可欠な知識、教養、技能を身につけ、現実社会と関連づけた権利意識に基づき、福祉の歴史や原理を社会の様々な領域で活かすことができる
 ①自分とは異なる立場の考え方を理解することができる
 ②社会や日常の出来事を権利の視点から考えることができる
 ③培われてきた福祉の歴史や原理をもとに次の社会を展望できる

◆自らの価値を大切にしながら、価値が相違する相手とも丁寧に対話を進め、日々、社会で起こる諸課題を新たな価値の創出機会と捉えなおすことができる
 ①自らの意思や感情を他者に応じて表現することができる
 ②生活背景を踏まえて他者の視点や立場を想像することができる
 ③社会の諸課題を新たな可能性を生み出すきっかけにすることができる

■誰もが平等に扱われ自由で安心して暮らせる地域社会をめざして、必要とされるケアや環境を追求し続けることができる

希望の進路

中学社会と特別支援の教員免許を目指す場合



◆◆卒業研究ゼミ1・2

■児童ケア論	教育実習指導 (特別支援)	教育実習 (特別支援)
■人間発達論	教職実践演習 (教諭)	〔注〕 緑：必修／選択必修科目 水：教職関連科目 紺：社会福祉士科目 桃：精神保健福祉士科目 橙：保育士科目 赤：社会福祉関連科目 茶：実習科目 *：オンデマンド科目
◆◆ソーシャルワークの理論と方法1・2	視覚障害教育総論	
	重複障害・発達障害児の指導法	

■教育福祉演習	教育実習指導 (中・高)	教育実習 (中・高) 1・2
●精神保健の課題と支援1・2	介護等体験	肢体不自由児の指導法
●■地域共創演習3	知的障害児教育Ⅱ	病弱虚弱児の指導法
	知的障害児教育Ⅰ	特別活動の指導法
	■現代家族論	■社会政策論
	■社会福祉法	

●社会的養護1	知的障害児の心理	人文地理学1 *
●児童・家庭福祉論	特別支援教育総論	発達心理学
●障害児者福祉論	自然地理学1 *	■欧米社会福祉史
◆ ■地域共創演習1・2	地誌学1 *	■日本社会福祉史
	■若者支援論	

■福祉のケアと倫理	日本史概論*	西洋史概論*
●現代の社会問題とソーシャルアクション	東洋史概論*	教育心理学
	■人権と福祉	■教育原論
	◆アカデミック・スキルズ	■社会福祉史
		■社会福祉原論